

平成 24 年度（秋）教育システム改善のためのアンケート集計結果（簡約版）

1. はじめに

北海道大学工学部・資源循環システムコースでは、教育内容・方法等を継続的に改善していくことを目的として、2002年（平成14年）8月に教育システム改善委員会を設置した。本委員会は、学生・社会人を対象としたアンケートを通して、本コースの教育に対する学生・卒業生の評価・意見・要望等を受け付け、これを集計・分析してコース会議に報告することを活動の骨子としている。

ここでは、本コース学生を対象に平成24年10月に実施したアンケートの回答を集計した結果を報告する。

2. アンケートの実施方法と書式

学部2、3年生および4年生を対象としたアンケートは、別紙1に示す書式（質問書と回答書）を用いて下記の要領で実施した。

表1 アンケート実施要領

対 象	実施日	実施場所	備 考
2 年生	10 月 15 日	授業にて	授業中に配付，回収
3 年生	10 月 15 日	授業にて	授業中に配付，回収
4 年生	10 月 15 日	研究室	各自配布，研究室ごとに回収

3. 集計結果

3.1 回答者に関して（設問 1）

設問 1 は回答者自身に関する情報を得るために設けたものであり、学年について、A(学部 2 年)、B (学部 3 年)、C (学部 4 年)のうちに当てはまるものを○で囲むよう問うている。本年度から学部 2 年生が新カリキュラムとなり前期にコース分属が行われるため、秋アンケートは学部 2,3,4 年生を対象として行っている。表 2 に小設問(1)への回答の集計結果を示す。全体として 78.6%の回答率を得た。

表 3 に小設問 (2) の「進路希望」への回答を示す。各学年における進学・就職希望の割合については、2,3 年生の 7 割程度が大学院への進学を希望しており、これは例年とほぼ近い結果であった。4 年生に関しては、決定後の進路（大学院進学など）を記入した学生が多かった。

表 2 回答者内訳と回答率

	2 年生	3 年生	4 年生	合計
総数(人)	35	32	31	98
回答者数(人)	23	22	22	77
回答率	65.7%	100%	71%	78.6%

表 3 進路希望

内 容	学部2年	学部3年	学部4年	合計
大学院進学	13 名	24 名	19 名	56 名
大学院進学か進学			1 名	1 名
進 学			1 名	1 名
大学院進学や就職	3 名	1 名		4 名
就 職	4 名	6 名	1 名	11 名
未 定	2 名			2 名
無回答	1 名	1 名		2 名

3.2 カリキュラムに対する評価（設問 2）

設問 2 では、カリキュラムに関して以下の 4 つの小設問を設けて質問している。なお、いずれの小設問についても複数回答可としており、小設問(1)～(3) に関しては平成 24 年度 I 期に受講したもののみ回答するように指示している。小設問(4)では、その他カリキュラムに関する自由な意見を求めた。

- (1) 授業の内容・方法等がすばらしかった科目があれば、「科目番号」を記入して「どのようにすばらしかったのか」をできるだけ具体的に述べてください。

例：「高度な内容にもかかわらず授業の構成が上手で理解しやすかった」「実物に触れる機会が多く、具体的だった」「厳しかったが熱意を感じ、やる気がでた」「質問に対して的確に誠意をもって返答してくれた」「ユーモアにあふれ退屈しなかった」等々

- (2) 授業の内容・方法等に問題を感じた科目があれば、「科目番号」を記入して「どんな問題があったのか」をできるだけ具体的に述べてください。また、「問題の解決法・改善策」について意見のある方は、これについても述べてください。

例：「むつかしすぎて（勉強したにもかかわらず）ついていけなかった」「簡単すぎる」「シラバスと授業内容が全く異なる」「欠講が多い」「板書をもっと整理すべきだ」「声がきこえない」「駄洒落はいらない」等々

- (3) 成績の評価に疑問を感じた科目があれば、「科目番号」を記入し、「その理由」をできるだけ具体的に述べてください。

例：「ほとんど出席していないのに優だった」「友だちより出席・テストいずれもがいいはずなのに彼は優で私は可だった」「授業に出ていない内容がテストに出た」「成績が入っていない」等々

- (4) その他、「カリキュラム」に関してご意見があれば自由に述べてください。

表 3.1 に回答の集計結果、表 3.2 および表 3.3 に各科目への意見を示す。小設問(1)は、「授業の内容・方法がすばらしかった科目」に対する回答である。本年度 I 期に受講した科目に対してのみに限定した設問であり、回答を見ると上位科目は「流体力学」が 12 件、「地球科学」、「粉体工学」が 7 件、となっている。すばらしかった科目への意見は、「理解しやすい」「板書が良い」、「質問にしっかり対応してくれた」などであった。

小設問(2)は、「内容・方法に問題を感じた科目」を問うている。「基礎図形科学」が 9 件、「土の力学Ⅱ」が 7 件、「廃棄物資源工学」、「情報エレクトロニクス概論」が 6 件、「都市学概論」が 5 件、「生物工学概論」、「資源循環デザイン」、「熱力学演習」、「資源循環工学」が 3 件、であった。その意見は「説明が分かりづらい」「教科書が分からなくて、必要性がわからなかった」「難しすぎる。勉強のしようがない。」「配布資料がなく、各自でコピーするのが大変。あと、説明が全く分からない。」「板書が汚いし、まとまっていない」「声が聞き取りずらかった」などであった。

小設問(3)は「成績の評価に疑問を感じた科目」を問うたものであるが、「廃棄物資源工学」が 4 件、「機械工学概論」が 2 件であった。その意見は「試験の評価基準が不明」「採点基準があいまい」、「事前に告知された評価方法と異なる」などであった。

表 3.4 に小設問(4)の回答を示す。小設問(4)は、「カリキュラム」に関する自由な意見を求めたものである。回答としては、「選択科目に関する意見」などカリキュラムに関する意見があった（もっと選択のできる教科が増えたらいいという意見もあった）。その他として「英語の授業を 2 年前期につくってほしい」「学外実習で海外に行く人にはより多く事前に学ぶ機会があったが、国内の人にはなかったこと。」があった。

表 3.4 自由意見

資源循環デザインは、同じテーマのグループがいくつもあると、さすがに内容がかぶりすぎて、調べるのも話すのも聴くのもつまらなくなる時がありました。
普通の数学の授業と演習の授業があつてよかった。
学生が授業中うるさいのでなんとかしてほしい。
英語の授業を2年前期につくってほしい
選択授業をもっと受けられるようにしてほしい。
学外実習で海外に行く人にはより多く事前に学ぶ機会があつたが、国内の人にはなかつたこと。
選択科目なのに全然選択できない。もっといろんな授業から選択したい。
もっと選択のできる教科が増えたらいいと思う
どの科目も受講していないため評価できない

教育システム改善のためのアンケート(平成24年度)

学生の皆さんにより良い教育サービスを提供する…これが大学の使命です。

このためには、教育の目標や内容・方法について吟味し、その改善のための努力をたゆむことなく続けていく必要があります。そして、この努力を果のあるものとするためには、サービスの受益者たる学生・卒業生の皆さんの意見をj知ることが不可欠です。

以上のような考えから、北海道大学工学部 資源循環システムコースでは、教育システム改善委員会を設置し、学生・卒業生の皆さんを対象としたアンケートを定期的j実施して、その声を教育システムの改善のために反映させていくことと致しました。多少骨の折れるアンケートだとは思いますが、皆さん自身あるいは後輩たちのことを考えて、ご協力下さい。

それでは、以下の質問に対してお答えください。回答は添付した回答用紙の該当個所に記入して教育システム改善委員会に提出してください。

1. あなた自身について

まず、あなた自身についてお聞かせください。

(1) あなたの学年・身分は？ 該当するものを選んで記号を○で囲んでください。

A : 学部2年 B : 学部3年 C : 学部4年 D : 大学院生

E : 社会人(技術系) F : 社会人(非技術系) G : その他

(2) あなた(学部学生、大学院生)はどのような進路を考えていますか？

あなた(社会人)はどのようなお仕事に就かれていますか？

例えば、「大学院進学」、「環境関連の研究者」、「建設業界」などのように記入してください。

2. カリキュラムについて

3 ページの目のカリキュラム表を見て、下記(1)～(3)の質問にお答えください(複数回答可)。受講されていない科目もあるかと思いますが、本年度前期(4～9月)に受講したもののみ回答してください。

「科目番号」とは、カリキュラム表内に記載されている番号です。

又、(4)に関してはご自由に記述ください。

- (1) 授業の内容・方法等がすばらしかった科目があれば、「科目番号」を記入して「どのようにすばらしかったのか」をできるだけ具体的に述べてください。

例：「高度な内容にもかかわらず授業の構成が上手で理解しやすかった」「実物に触れる機会が多く、具体的だった」「厳しかったが熱意を感じ、やる気がでた」「質問に対して的確に誠意をもって返答してくれた」「ユーモアにあふれ退屈しなかった」等々

科目番号 _____

科目番号 _____

- (2) 授業の内容・方法等に問題を感じた科目があれば、「科目番号」を記入して「どんな問題があったのか」をできるだけ具体的に述べてください。また、「問題の解決法・改善策」について意見のある方は、これについても述べてください。

例：「むつかしすぎて(勉強したにもかかわらず)ついていけなかった」「簡単すぎる」「シラバスと授業内容が全く異なる」「欠講が多い」「板書をもっと整理すべきだ」「声がきこえない」「駄洒落はいらぬ」等々

科目番号 _____

科目番号 _____

- (3) 成績の評価に疑問を感じた科目があれば、「科目番号」を記入し、「その理由」をできるだけ具体的に述べてください。

例：「ほとんど出席していないのに優だった」「友だちより出席・テストいづれもがいいはずなのに彼は優で私は可だった」「授業に出ていない内容がテストに出た」「成績が入っていない」等々

科目番号 _____

科目番号 _____

- (4) その他、「カリキュラム」に関してご意見があれば自由に述べてください。

ご協力ありがとうございました。

【 提出は担当の先生、またはコース秘書小林 (A 6 1 5) までお願いします 】

(4年生)

科目番号・科目名	単位	必修・選択	学期	講義・演習・ 実験の別
1 現代物理学概論	2	選択	4・I	講義
2 機械工学概論	2	選択	4・I	講義
3 コンストラクションマネジメント	2	選択	4・I	講義
4 気象学	2	選択	4・I	講義
5 廃棄物資源工学	2	選択	4・I	講義